



地域医療連携室だより

Vol.176



だより内に



発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院
地域医療連携支援センター 地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電話 077-526-8192
FAX 077-522-0192 発行日:2024年1月1日

市立大津市民病院 検索

が5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

新年のご挨拶

新年明けまして

おめでとうございます

ひのあきひこ

市立大津市民病院 院長:日野 明彦



当院に着任して1年半が過ぎました。着任の前日、私は家人から7項目の提言？をつきつけられていました(守れなかったら即刻退場という「クギ」をさされました)。長年私を見てきただけあって、けっこう”刺さる”言葉でした。

この1年間、何とか死守できたのは”セクハラ厳禁”だけという指摘の是非はともかく、ある日手術室に入ったら、壁にこの7項目が貼られていて絶句しました。人はなかなか変わらないものですが、今年1年、もう一度初心に戻って頑張ります。

当院の長所は、①患者さんの診療を最優先に考えられる職員が多いこと、②トップレベルの診療技能を持った職員が多いことだと思います。独断ではありますが、2023年の10大ニュースを列挙します。

まだまだ夜明けとはいえませんが、市立大津市民病院は本年も頑張ります。御厚誼をいただいた先生方に深く感謝申し上げますとともに、よろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

—7項目の提言—

1. セクハラ、パワハラ厳禁。
2. 思うとおりにいなくてもイライラしない。
3. 出来るだけ反則技を使わない。
4. 公私混同をしない。
5. 相手の名前と顔を憶える。
6. つまらないウケを狙わない。
7. 予定が決まったらすぐにメモを取る。

2023年の10大ニュース

- 1、田中慶太郎副院長が第3回 MESDA Train The Trainer 研修(タイ国・バンコク)において、講演と技術指導を行った。
- 2、放射線科市場部長が日本放射線学会診断部門で最優秀正解者に認定された。
- 3、放射線科藤本医師、高橋技師がマラソン大会での人命救助を表彰された。
- 4、河内明宏理事長が、日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会のInnovation awardを受賞した。
- 5、元臨床検査部松井技師長が叙勲された。
- 6、テレビ東京「ガイアの夜明け」で大津市民病院の再建活動が放映された。
- 7、済生会滋賀県病院脳卒中センターとの連携救急診療体制を確立した。
- 8、脊椎脊髄外科専門外来を10月に開設した。
- 9、滋賀医大と連携してドクターカーの運用を開始した。
- 10、地域のクリニックや医療機関に当院職員を派遣する体制を作った。



脳神経外科からのお知らせ

あらゆる脳卒中、

脳神経外科疾患に対応します！

脳神経外科には常勤医が新たに着任し、急性主幹動脈閉塞症に対する緊急血栓回収療法を行う体制が整いました。

* 昨年度から、市立大津市民病院で緊急血栓回収療法を開始

* 昨年 10 月より、脳神経外科常勤医着任

卯津羅 泰徳(うづら やすのり)医師

脳神経外科学会専門医



- 脳神経外科常勤医が着任し、3 か月間の脳神経手術件数は過去 10 年で最高になりました。
- 急性主幹動脈閉塞症に対する緊急血栓回収療法を行う体制が整いました。
- 毎週月曜日に脊椎脊髄外科専門外来を開設し、脊髄腫瘍や脊柱管狭窄症、難治性疼痛に対する手術も既に始めています。

最近の代表例を提示します。

【症例紹介】

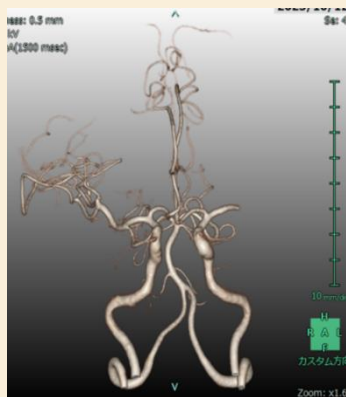
右完全片麻痺 + 全失語 + 左共同偏視を発症

125 分後 血栓回収療法開始

159 分後 完全再開通

NIHSS 18 点→5 点、独歩で自宅退院となりました。虚血時間は 2 時間 39 分でした。

CT CTA 脳血管撮影



秋の叙勲により

瑞宝双光章を受章しました

臨床検査部 松井まり子さんが秋の叙勲により瑞宝双光章を受章しました。

※叙勲 長年に渡り各分野で活躍し、功績のあった人を称えるもの。

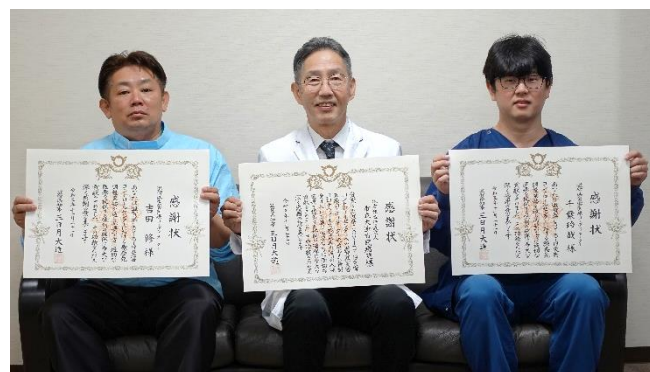


滋賀県知事より

感謝状を受領しました

救急診療科診療部長であり滋賀県災害医療コーディネーターの千葉玲哉先生と救急看護認定看護師の吉田修さん、及び当院は、滋賀県 COVID-19 災害コントロールセンターにおける療養先調整業務を通じ、必要な方に適切な医療を提供する体制の確保に貢献したことへの感謝状を受領しました。

今後も滋賀県下で唯一の第一種感染症指定医療機関としての役割を果たし、滋賀県の医療に貢献してまいります。



一般職員への BLS 研修を行いました

臨床研修センター 医療の質・安全管理室 共同

私達人間は心肺停止状態が 10 分以上経過すると脳に不可逆的なダメージをおってしまいます。蘇生チームを待っている間は手遅れになってしまうケースも多く、その場に居合わせた職員による蘇生行為が患者様の予後に大きく影響を及ぼします。そのため、当院ではシミュレーション研修を通して患者様の万一の急変に日々備えています。また、急変に対する意識が高い病院として、病院機能評価においても高い評価をいただいております。今後もガイドラインが更新される 5 年毎に全体研修を行い、患者様が安心して療養できるように院内医療安全を守っていきます。



文責：集中ケア認定看護師・特定行為看護師 森俊之



2年目研修医 note



ひらた ゆうき
平田 裕希

- 🍷 出身大学・卒業年度: 滋賀医科大学・2021年度
- 🍷 趣味・特技・好きな時間の過ごし方など: カフェラテを飲んで甘い物を食べること。
- 🍷 医師を目指した理由: 人とふれあい、助けることのできる仕事だから。
- 🍷 どんな医師になりたいですか?: 親しみやすく患者さんの気持ちに寄り添える医師。
- 🍷 研修医2年目の目標
研修医の間にいろんな診療科の先生方の素敵なお話をたくさん吸収したいです。
- 🍷 地域の先生方へのメッセージ
小さい頃から地域の先生に大変お世話になり、自分も地域医療に貢献したいと医師を志しました。まだまだ未熟ですが、精一杯頑張りますのでご指導のほど宜しくお願いいたします。

フィッシュ委員会主催

クリスマス音楽会 2023 を開催いたしました

令和5年12月19日(火)「クリスマスコンサート」のイベントを Team Fishを中心に開催させていただきました。病院職員によるピアノの伴奏に合わせて、ハンドベル、フルート、バイオリン演奏を行いました。外来や入院中の患者様から、演奏の度に大きな拍手をいただきました。



ピアノ: 中嶋副院長



バイオリン: 小橋診療局長



フルート: 水野総務課長



指揮: 中里師長 ハンドベル: 看護局副師長

市立大津市民病院大学 健康講座を開催いたしました

第6回 市立大津市民病院大学 健康講座

「一緒に考えてみませんか。自分らしい人生の旅じたく」

- 日時: 令和5年12月15日(金) 14:00~15:00
- 場所: 市立大津市民病院 9階会議室
- 講師: がん看護認定看護師/緩和ケア認定看護師: 杉江 礼子
緩和ケア認定看護師: 阿波屋 真帆

今回、もしもの時に備えて、あなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自分自身で考えたり、あなたの信頼する人たちと話し合う「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)一人人生会議」についての講座を行い、当日43名の参加がありました。講座中に「もしバナゲーム」を行い、参加者同士で話し合い、意見交換の場を設けました。



作・画 まきろん



①

「昨年はおれこれやろうとして、でも終わらなくてへこむことが多かった」

②

「自分自身で考えたり、あなたの信頼する人たちと話し合う」

③

「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)一人人生会議」

④

「もっとシンプルに、自分がやりたいことをやれる時間を作る!」